

院+1
147:済

水研本部第709号

令和3年3月2日

各位

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

水産研究本部長 木村 稔

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員の募集について

時下ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、この度、別添「地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用募集要項」のとおり令和4年度採用の研究職員を募集することになりました。

当水産研究本部では、2試験区分（管理増殖、食品科学）で管理増殖7名、食品科学5名のうち水試3名の計10名の採用を予定しております。

つきましては、貴校の学生、卒業生等に本募集要項を周知していただくなど受験に特段のご配慮をお願いいたします。

記

1 送付書類

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用試験募集要項（令和4年度採用）

2 申し込みの受付期限

令和3年4月16日（金）〔消印有効〕

3 第1次試験日

令和3年6月6日（日）

試験地：札幌市、東京都

4 その他

今回送付した募集要項のほか、受験の「申込書」についても当機構のホームページ（<http://www.hro.or.jp/hro/recruit/recruit/kenkyu.html>）からダウンロードできますのでご活用ください。

5 問い合わせ先

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

本部経営企画部経営企画グループ

電話 011-747-2813

（水産研究本部総務部総務課）

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用試験募集要項 (令和4年度採用)

令和3年3月1日 札幌市北区北19条西11丁目

北海道立総合研究機構 電話 011-747-2813

- 受付期限 令和3年4月16日(金) [消印有効]
- 第1次試験日 令和3年6月6日(日)
- 第2次試験日 令和3年7月中旬(7/10~11予定)
- 試験地 札幌市(第1次、第2次)、東京都(第1次)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年4月に、幅広い研究分野を有する試験研究機関として北海道の総力を結集した試験研究や技術支援等を進め、自然環境の保全や道民の豊かな暮らしづくり、道内産業の振興に貢献することを目的に、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる22の試験研究機関を統合して設立した研究機関であり、この採用試験は、各研究分野において研究業務を行う職員を採用するための試験です。

なお、採用後の身分は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の職員となります。

(北海道職員ではありません。)

1 試験区分、採用予定数、主な職務内容及び勤務予定箇所

試験区分	採用予定数	主な職務内容	採用時の勤務予定箇所
農学	8名	農業に関する調査研究	農業試験場、 花・野菜技術センター、 酪農試験場又は 畜産試験場
農業経済	2名	農業経済に関する調査研究	農業試験場又は 酪農試験場
獣医	1名	家畜感染症に関する調査研究	酪農試験場又は 畜産試験場
畜産	2名	家畜及び飼料作物に関する調査研究	農業試験場、 酪農試験場又は 畜産試験場
管理増殖	7名	水産資源の管理及び増養殖に関する調査研究	水産試験場
食品科学	5名	食品の加工・品質・保存に関する試験研究	水産試験場又は 食品加工研究センター
木質材料	1名	木質材料の加工技術及び性能向上技術に関する試験研究	林産試験場
森林科学	1名	育林及び材質に関する調査研究	林業試験場又は 林産試験場
情報工学	1名	情報工学に関する試験研究	工業試験場
化学工学	1名	化学工学に関する試験研究	工業試験場
エネルギー	1名	エネルギーシステムに関する試験研究	エネルギー・環境 ・地質研究所
地質	1名	地質災害に関する調査研究	エネルギー・環境 ・地質研究所
建築・都市工学	2名	建築・都市工学に関する調査研究	北方建築総合研究所

※ 「採用時の勤務予定箇所」の所在地については、当機構のホームページ (<http://www.hro.or.jp>) に記載しています。

なお、「採用時の勤務予定箇所」について、ご不明な点がある場合は、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話 011-747-2813）にお問い合わせください。

※ 上記試験区分のうち、いずれか1つしか応募できません。また、申込受付後は試験区分の変更は認めません。

2 試験日程、試験地等

試験区分	試験	試験日	試験地	試験会場
全試験区分	第1次試験	6月6日（日） 9：30（着席） 16：00（終了見込み）	札幌市 東京都	受験票でお知らせします。
	第2次試験	7月中旬 7/10～11 予定	札幌市	第1次試験合格通知書でお知らせします。

※ 第1次試験地の東京都は、会場の都合により先着順となります。先着に漏れた方は、札幌市で受験していただきます。東京都での受験を希望する場合は、早めに申し込みをしてください。また、申込受付後は試験地の変更はできません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、東京都での試験を実施しない場合があります。その際には、東京都での受験を希望した方も、札幌市で受験していただきますのでご了承ください。

3 求める人材、受験資格

試験区分	求める人材（専門分野等）	受験資格
農学	農学に関する基礎知識、 並びに次の①から④のいずれかに関する専門知識を有する者 ①作物学、園芸学及び作物育種学 ②土壌学及び作物栄養学 ③植物病理学及び応用動物昆虫学 ④農業工学	昭和57年4月2日以降に生まれた者
農業経済	経済学に関する基礎知識、 並びに農業経済学に関する専門知識を有する者	昭和57年4月2日以降に生まれた者
獣医	畜産学に関する基礎知識、 並びに獣医学に関する専門知識を有する者	昭和57年4月2日以降に生まれた者で 獣医師免許を有する者又は採用までに獣医師免許取得する見込みの者
畜産	畜産学に関する基礎知識、 並びに次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①家畜栄養学、家畜管理学、家畜育種学及び家畜繁殖学 ②飼料作物学及び草地学	昭和57年4月2日以降に生まれた者
管理増殖	水産学に関する基礎知識、 並びに次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①水産資源管理、②水産増養殖	昭和57年4月2日以降に生まれた者
食品科学	水産学又は食品学に関する基礎知識、 並びに次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①水産利用、②食品加工	昭和57年4月2日以降に生まれた者
木質材料	木質科学に関する基礎知識、 並びに木質材料学に関する専門知識を有する者	昭和62年4月2日以降に生まれた者
森林科学	森林科学に関する基礎知識、 並びに次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①育林学、②樹木生物学	昭和62年4月2日以降に生まれた者
情報工学	情報工学に関する基礎知識、 並びに画像処理・認識技術に関する専門知識を有する者	昭和62年4月2日以降に生まれた者

化学工学	化学工学に関する基礎知識、 並びに反応工学及びプロセス設計工学に関する専門知識を有する者	昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者
エネルギー	エネルギー(機械工学又は化学工学)に関する基礎知識、 並びにエネルギーシステムに関する専門知識を有する者	昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者
地質	地球科学に関する基礎知識、 並びに地質学、火山学及び地理情報システムに関する専門知識を有する者	昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者
建築・都市工学	建築学に関する基礎知識、 並びに次の①又は②のいずれかに関する専門知識を有する者 ①防災及び建築構造、②建築構法及び建築材料	昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者

※ 試験区分によって受験資格(年齢・資格)が異なりますので、確認のうえ応募してください。

※ 次に該当する方は、受験できません。

ア 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

イ 北海道職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者

ウ 日本国憲法施行の日(昭和 22 年 5 月 3 日)以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

なお、日本国籍を有しない方も受験できますが、採用日において、法令により永住が認められていない方は採用されません。

4 試験方法、内容

試験区分	試験	試験種目	解答時間	内 容
全試験区分	第 1 次試験	S P I	1 1 0 分	当機構研究職員として必要な基礎能力等についての筆記試験
		専門試験 (択一式・記述式)	1 8 0 分	各試験区分に応じて必要な専門的知識、能力などについての筆記試験(大学院修士課程修了程度の知識を問います。) ※試験区分によっては択一式のみ又は記述式のみの出題となる場合があります。
	第 2 次試験	人物試験	第 1 次試験合格者に対して、個別面接を行います。	

※ 専門試験に出題する専門分野は、「3 求める人材、受験資格」に記載のある分野です。

なお、丸数字の分野は、いずれかの専門分野を選択できます。

5 合格者の決定方法

(1) 第 1 次試験合格者 S P I 及び専門試験の結果により決定します。

(2) 最終合格者 第 2 次試験の結果により決定します。

6 合格発表

合格者の発表は受験番号のみにより行い、合格者の受験番号を当機構本部入口の掲示板に掲示するほか、当機構のホームページ上にも掲示します。また、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話による照会には応じません。

合格した方で、合格通知書が発表の日から 2 日経っても到着しない場合には、速やかに、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ(電話 011-747-2813)にお問い合わせください。

なお、辞退等の理由により合格者を採用できなくなった場合は、第 2 次試験受験者のうち成績が上位である者を合格者として追加することがあります。

○ 合格発表日

ア 第 1 次試験合格発表 6 月 23 日(水) 予定

イ 最終合格発表 7 月下旬 予定

※ ホームページでの合格発表は、合格発表日の午前 10 時を予定しています。

7 試験結果の開示について

この試験の結果については、『地方独立行政法人北海道立総合研究機構口頭による開示請求の開示要綱』の規定により、下表のとおり口頭で開示を請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、旅券、学生証等）を持参のうえ、午前8時45分から午後5時までの間に直接お越しください。（土・日曜日及び祝日は受付いたしません。）

開示請求できる人	開示期間	開示内容	開示場所
第1次試験 不合格者	第1次試験合格発表日 から1か月間	第1次試験の個別得 点及びその成績順位	北海道札幌市北区北19条西11丁目 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 本部経営企画部経営企画グループ
第1次試験 合格者	最終合格発表日から1 か月間	第1次試験の開示内 内容及び第2次試験の 得点並びに総合順位	

8 採用時期

採用時期は、原則として令和4年4月1日です。（ただし、既に学校を卒業されている方等は、令和3年度中に採用される場合もあります。）

ただし、本試験に合格しても、健康診断等で就業が困難とされた場合は採用されません。

9 給 与（次の額は、令和3年4月1日現在における新卒者の場合の例です。）

区 分	初 任 給	諸 手 当
(例1) 研究職員（博士課程修了）	272,000 円	期末手当・勤勉手当（賞与）、通勤手当、住居手当、 扶養手当、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給 条件に応じて支給されます。
(例2) 研究職員（修士課程修了）	223,500 円	

※ 初任給は、採用前の学歴や経歴などを考慮のうえ、決定します。

なお、当機構では、社会一般の情勢等に応じた給与の見直しを適宜行っています。

※ 社会保険については、地方職員共済組合に加入することとなります。

10 申込方法

次の書類を令和3年4月16日（金）までに北海道立総合研究機構本部あて持参（期限：当日17時）又は郵送（期限日消印有効）により提出してください。なお、郵送の場合は、必ず簡易書留で送付してください。

- （1）申込書（指定の様式に黒ペン又は黒ボールペンで明瞭に手書するか、又はパソコンで作成し、指定の場所に写真を貼付してください。）
- （2）返信用封筒（受験票の送付先を明記し、84円切手を貼付した長形3号（12.0 cm×23.5 cm））

【提出先】

北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ
〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目

4月23日（金）に受験票を発送予定です。4月28日（水）までに受験票が届かないときは、4月30日（金）に北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話011-747-2813）に必ずお問い合わせください。

※ 第1次試験受験の際は、必ず受験票の所定の欄に6か月以内に撮影した脱帽、上半身、正面向きの縦4 cm×横3 cmの写真を貼ってきてください。

11 その他

- （1）申込書に記載された個人情報は、本試験以外の目的には使用しません。
- （2）採用の可否に関わらず、応募書類は返却いたしません。
- （3）収集した個人情報は、北海道個人情報保護条例に基づき適切に管理します。
- （4）申込後に、本試験を受験しない場合はその旨ご連絡ください。